

学校だより

東泉丘

令和4年(2022年)7月号

全児童数 587人(6/20現在)

豊中市立 東泉丘 小学校

校長 河上 洋介



全国学力・学習状況調査について

4月19日(火)に、5、6年生が全国学力・学習状況調査等に取り組みました。この調査問題の傾向や特徴からは、今どのような学習活動が学校に求められているのかを考える手がかりが得られます。6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査の調査問題について紹介します。

まず、国語では、自分で考えて書く問題が出題されていることが特徴的でした。例えば、大問2では、森田さんが「銀色の幻想」という物語を読んで友達と推薦しあう様子が描かれています。その中で、この物語を読むと前向きな気持ちになれる理由となる「物語から伝わってくることを、森田さんになったつもりで考えて書く問題が出題されています。字数は10字以上30字以内です。正答例は、「夢を持ち続ければ、いつかかなえられるということです。」「今を大切にすることが明るい未来につながるということです。」「好きなことをもつ大切さです。」です。これらの正答例に使われている「夢」「未来」という言葉は、問題の中に出てくるので、手がかりはあります。普段の授業でも、意見や感想等を自分で考えて書く学習活動を十分にすることが求められています。

なお、全ての問題で、子どもたちが「話し合い」や「伝え合い」をしている様子が描かれています。これは、算数や理科の問題でも同様です。普段の授業でも、「話し合い」や「伝え合い」が大切です。

また、国語の問題に出てくる学習用語としては、「引用」「書き出し」「事実と感想」「自分の考えと理由」等がありました。普段の授業の中で、子どもたちがこれらの学習用語を正しく理解し、自分で使えるようになることも大切です。

次に、算数では、4つある大問のうちの1つが、正方形などの図形を「プログラム」を使って書く内容についての出題でした。これは5年生での学習内容です。試行錯誤しながらプログラムを作る様子が描かれています。最初に、5センチの直線を引く、左に90度回転する、といった手順を組み合わせて、正方形を書くプログラムを作ります。その後、正方形のプログラムを書き換えて、正三角形や長方形等を書いていきます。本校でも、「スクラッチ」というプログラミング用のアプリを使う等して、子どもたちの論理的思考力を育てる取り組みを進めています。

最後に、理科では、問題の中で、観察してまとめたことや、実験をして気づいたこと等をもとにして、子どもたちが「問題」を見つける様子が描かれていることが特徴的でした。例えば、大問2では、水と砂糖水がこおる様子を観察して「水が先にこおって、砂糖水はこお

るのに時間がかかった」という結果から、「砂糖水は水よりこおる温度が低いのかな。」や「砂糖水だけでなく食塩水も調べてみたいね。」といった疑問等を出し合う中で「砂糖水や食塩水が全てこおる温度は、水がこおる温度より低いのだろうか。」という「問題」を子どもたちが見つける様子が描かれています。このように、先生から出された「問題」を解決するだけでなく、子どもたち自身が「問題」を見つけていることが求められています。これからの予測困難な時代を生き抜く、主体的な子どもたちを育てるための授業改善のキーワードの1つが「問題発見」です。

学力・学習状況調査と同時に実施したすくすくウォッチでは、国語、算数、理科について、基本的な知識を問う問題が出題されていました。国語では、文章を読んで答える問題はなく、助詞や指示語等、言葉に関わる問題が出題されていました。文中の間違いを正しく書き直す問題もありました。例えば、「今日の話し合いの目的は、学級目標について考えます。」の下線部を正しく書き直す問題です。正答例は「考えることです」です。このような誤りは、普段の学校生活の中でもよく見られるものと思います。

地震火災避難訓練等について

6月15日（水）に地震火災避難訓練を実施しました。雨天のため、昨年と同じように2学年ずつ体育館へ避難する訓練となりました。5、6年生には、10年ぶりに見直され、先日公表された東京都で直下型地震が起こった場合の被害想定について、少し紹介しました。今回公表された被害想定の特徴は、地震発生後にどんな問題が起こるかを想定していることです。例えば、高層マンションでは、エレベーターが止まり、地上との往復が困難となるため、高層階に住んでいる人は通常の3日分の備蓄では不足し、1週間分の備蓄が必要である、といったことが言われています。この機会に、ご家庭でも災害が発生した際の連絡方法や備蓄、室内の安全対策等について話し合ってみてください。

また、6月17日（金）には、教職員対象の心肺蘇生法訓練を実施しました。6月21日（火）には不審者対応避難訓練を実施しました。子どもたちの安全を守る取り組みです。

<連絡やお願い>

・6月16日にコドモンでもお知らせしたとおり、登下校時のマスクの着用について、教育委員会からの通知に基づき、夏場の暑い時期には感染症対策よりも熱中症対策を優先させ、登下校中はマスクを外すように子どもたちに指導しています。ただし、感染対策を全くしないのではなく、近い距離で大きな声で話をしないようにとも指導しています。

・コドモンでの連絡について、4月19日付のおたよりにてお知らせしているとおり、朝8時20分以降の連絡は、これまで通り電話で連絡ください。また、6月末で学校連絡メールとの併用期間を終了し、7月以降はコドモンのみとします。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い（愛）」